

出産育児一時金等支給申請書(受取代理用)

被保険者が記入するところ	被保険者	記号	番号			
		氏名	⑨			
		生年月日	昭和・平成・令和	年	月	日
		住所	〒 —			
	出産予定日・数	昭和・平成・令和	年	月	日	単・多 (胎)
	出産予定者	氏名				
	※申請者と同一の場合は不要です。	生年月日	昭和・平成・令和	年	月	日
	出産予定医療機関等	名称				
		所在地	〒 —			
	申請者に対する支払金融機関	銀行 金融 信組				
預金種別		1:普通 4:通知 2:当座 5:貯蓄 3:別段	口座番号	口座名義	店・本店 支店・出張所	
<p>申請者または出産予定者が出産予定日からの6か月以内に健康保険の資格を既に喪失している場合は、以下のいずれかに記載をお願いします。</p> <p>※ 健康保険法第106条の規定により1年以上健康保険の被保険者であった方が被保険者資格喪失後、6か月以内に 出産された場合、資格を喪失した最後の保険者から出産育児一時金の支給を受けることができます。</p>						
申請者本人の退職等により、健康保険組合の被保険者資格喪失後、6か月以内に 出産することによる申請である場合、資格喪失後に加入している保険者名 と記号・番号			保険者名			
			記号・番号			
申請者本人の家族が被扶養者認定後、6か月以内に 出産することによる申請である場合、その家族が被扶養者認定前に加入していた 保険者名と記号・番号			保険者名			
			記号・番号			
受取代理人の欄	<p>申請者() (以下「甲」という。)は医療機関である() (以下「乙」という。)を代理人と定め、次の権限を委任します。また、甲は、出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度は利用しません。 一時金等のうち、乙が甲に対して出産に関し請求する費用の額※の受領に関すること。 甲が請求する出産育児</p> <p>※出産育児一時金等の支給額(保険者が出産育児一時金等に係る付加給付を行う場合には、不可相当額を含む)を上限とする。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>甲の住所 氏名 印</p> <p>乙の住所 名称 印</p> <p style="text-align: right;">電話 ()</p>					
	受取代理人に対する支払金融機関	銀行 金融 信組				
		預金種別	1:普通 4:通知 2:当座 5:貯蓄 3:別段	口座番号	口座名義	店・本店 支店・出張所